

○昭和二十六年災害復旧記念碑（廿日市市中道）

昭和二十六年十月十四日夜未曾有の大洪水にて当時中道区戸数六十戸の内全壊八戸半壊埋没九戸死者六名重傷者二名田畑流失五町歩埋没三町歩余道路河川は全滅し悲惨なる災害を蒙りたつも縣議会中津井氏の盡力と当時村長新元氏の犠牲的努力とにより茲に復旧完成したる事を永久に記録すべく区民一同この碑を建つ

昭和三十一年十二月吉日